



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

# MMS NEWS

2017 **9** 月号  
Vol.79  
毎月1回発行(通巻79号)  
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 http://www.JMMPA.jp/

6月18日(日)実施「医療経営士」資格認定試験の合格者を発表

## 過去最多4035人が3級を受験 3級合格者の累計は1万人突破!

一般社団法人日本医療経営実践協会は7月18日(火)、第21回「医療経営士3級」および第13回「医療経営士2級」資格認定試験(ともに6月18日「日」実施)の合格者を発表した。3級試験は過去最多だった前回試験(2245人)を大きく上回る4035人が受験し、1924人が合格(合格率47.7%)。その結果、累計合格者数は1万人の大会を突破した。同じく過去最多の受験者数となった2級試験と合わせて試験結果を報告する。

### 第21回「医療経営士3級」資格認定試験

#### ●受験者数・合格率(表1)

受験申込者数4326人のうち4035人が受験(受験率93.3%)し、1924人が合格(合格率47.7%)した。

その結果、第1~21回までの累計受験者数は2万2418人、累計合格者数は1万4人となった。

#### ●年代別構成(表2)

受験者数、合格者数ともに「40歳以上49歳以下」が最多、僅差で「30歳以上39歳以下」が続く。合格率は「40歳以上49歳以下」が最も高く、唯一50%を超えている。

#### ●男女別構成

男性の受験者数3589人、合格者数1722人、女性の受験者数446人、合格者数202人となっており、合格率は男性48.0%、女性45.3%で、男性のほうが2.7%高い。

#### ●勤務先別構成(表3)

引き続き、製薬企業からの受験者が拡大し、受験者数、合格者数、合格率ともに「医療関連企業」がトップ。合格者数は全体の80.2%を占める。合格率も52.7%と非常に高く、全体平均を押し上げた。今後この傾向は続きそうだ。

### 第13回「医療経営士2級」資格認定試験

#### ●受験者数・合格率(表4)

受験申込者数467人のうち437人が受験(受験率93.6%)し、127人が合格(合格率29.1%)。

受験者数は前回試験より184人増え、受験者数、合格者数ともに過去最多を更新した。合格率は累計25.1%より4.0%高かった。

#### ●年代別構成(表5)

その結果、第1~13回までの累計受験者数は3344人、累計合格者数は841人となった。受験者数は「30歳以上39歳以下」、合格者数は「40歳以上49歳以下」が最多。合格率は「40歳以上49歳以下」が最も高く、僅差で「50歳以上59歳以下」が続く。

【表1】第21回3級試験および過去試験累計 結果概要

	第21回試験	第1~21回試験累計
受験者数	4,035人	22,418人
合格者数	1,924人	10,004人
合格率	47.7%	44.6%

【表2】第21回3級試験 年代別構成

年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	632人(15.7%)	238人(12.4%)	37.7%
30歳以上39歳以下	1,349人(33.4%)	655人(34.0%)	48.6%
40歳以上49歳以下	1,374人(34.1%)	705人(36.6%)	51.3%
50歳以上59歳以下	647人(16.0%)	311人(16.2%)	48.1%
60歳以上	33人(0.8%)	15人(0.8%)	45.5%

【表3】第21回3級試験 勤務先別構成

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	343人(8.5%)	124人(6.4%)	36.2%
医療関連企業	2,931人(72.6%)	1,544人(80.2%)	52.7%
金融機関	435人(10.8%)	129人(6.7%)	29.7%
大学・短大生	21人(0.5%)	2人(0.1%)	9.5%
その他	305人(7.6%)	125人(6.5%)	41.0%

※カッコ内の数値は全体に占める割合。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。  
※勤務先別の「その他」には、弁護士、税理士等の士業、建設会社等の一般企業が該当する。

## 医療経営士 3級 2級 資格認定試験

受験エントリー受付中!!

9月13日  
水まで!

同僚や  
知り合いの方に  
ご紹介ください

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日 **10月29日**  
2017年

受験エントリー期間 **8月14日(月)~9月13日(水)**

受験料支払締切日 **9月20日(水)**

	第22回「医療経営士3級」	第14回「医療経営士2級」
受験料 ※手数料別途	8,640円(税込)	15,400円(税込) 3級取得者 13,400円(税込) 分野受験者 (分野合格者)
受験資格	年齢、学歴、国籍等の 制約はありません	3級資格認定試験合格者かつ、 本会正会員
試験会場 (予定)	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・ 大阪・広島・高松・福岡・鹿児島・沖縄	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・ 大阪・広島・高松・福岡・沖縄

団体受験 ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめて申し込みできます。  
◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります

【表4】第13回2級試験および過去試験累計 結果概要

	第13回	第1～13回試験累計
受験者数	437人	3,344人
合格者数	127人	841人
合格率	29.1%	25.1%

【表5】第13回2級試験 年代別構成

年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	25人(5.7%)	5人(3.9%)	20.0%
30歳以上39歳以下	168人(38.4%)	44人(34.6%)	26.2%
40歳以上49歳以下	137人(31.4%)	46人(36.2%)	33.6%
50歳以上59歳以下	99人(22.7%)	32人(25.2%)	32.3%
60歳以上	8人(1.8%)	0人(0.0%)	0.0%

【表6】第13回2級試験 勤務先別構成

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	77人(17.6%)	20人(15.7%)	26.0%
医療関連企業	235人(53.8%)	83人(65.4%)	35.3%
金融機関	83人(19.0%)	18人(14.2%)	21.7%
大学・短大生	0人(0.0%)	0人(0.0%)	—
その他	42人(9.6%)	6人(4.7%)	14.3%

※カッコ内の数値は全体に占める割合。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。  
 ※勤務先別の「その他」には、弁護士、税理士等の士業、建設会社等の一般企業が該当する。

●男女別構成

男性の受験者数381人、合格者数111人、女性の受験者数56人、合格者数16人となっており、3級同様、男性が大多数を占める。合格率では男性29・1%、女性28・6%となっており、男女で大きな開きはない。

●勤務先別構成「表6」

受験者数、合格者数、合格率ともに「医療関連企業」がトップ。合格率35・3%は全体平均より6・2%高く、「医療関連企業」の累計合格率23・3%を12・0%も上回った。3級試験同様、製薬企業からの受験者拡大が影響しているが、十分な受験対策を行ってうえで、試験に臨んでいることがうかがえる。

試験結果総評

協会設立から7年、3級の累計合格者はついに1万人の大会を突破した。資格として一定の認知度を得たことで、今後はより一層、一人ひとりの資質や日頃の活動の成果が問われることになるだろう。

一方、本年6月には「医療経営士1級」の資格認定要件が改正され、すべての会員が1級を取得できるようになった。3級合格者は2級、1級へのステップアップを目指し、自己研鑽に励んでいただきたい。多くの医療経営士が自身の存在価値を発揮し、病院経営や地域医療に貢献していくことを期待している。

法人正会員紹介 ▶▶▶ 大塚製薬工場

医療機関の経営視点に立った質の高い情報提供を目指す

国内の輸液市場においてトップシェアを誇る大塚製薬工場では、地域医療に貢献できるMRの育成に向けて医療経営士の資格取得に取り組んでいる。取締役・営業本部長の小川元一氏と営業本部営業企画部専任課長の森光章氏に、資格取得のきっかけや今後の展望についてお話をうかがった。

患者さんの栄養管理を総合的にサポート

1921年に創立された「大塚製薬工場部」を前身とする弊社は、大塚グループ発祥の会社として、70年以上にわたり輸液事業に取り組み、日本の輸液開発を牽引してきました。輸液製剤以外にも経腸栄養剤などの医療用医薬品、経口補水液や濃厚流動食などのメディカルフーズを取り扱っており、急性期から回復期を経て、日常生活に戻るまで患者さんの栄養管理を総合的にサポートする製品を提供しています。

弊社の主力製品である輸液製剤は通常の医薬品とは異なり、医師、薬剤師、看護師、管理栄養士など多くの医療従事者の関与を経て、患者さんに投与されるという特徴があります。加えて、「安全性（感染や針刺し事故への対策）」「迅速さ（調整の手間を軽減）」「利便性（キット化）」などを考慮した製品開発がとても重要です。MRはそうした自社医薬品の情報提供・収集およびPMS（Post Marketing Surveillance：市販後調査）を主な業務

としていますが、近年は経営的な視点からトータルコストを踏まえた情報提供も求められるようになってきました。

弊社では、MRの社内教育・資格制度として上級MR制度を実施しております。まず第一に、病態に応じた輸液・栄養療法について第一線の医師に情報提供できることを前提とし、加えて医療政策の動向や地域の医療需要および医療提供体制を把握し、経営層と意見交換ができることをその目標として掲げています。質の高い情報提供に向けては医療機関が抱える課題を的確に把握することが不可欠であり、医療関係者間で広く認知されている医療経営士に着目しました。

栄養管理の重要性をもっと広めていきたい

医療経営士の資格取得に取り組み始めたのは、2017年3月5日（日）実施の第20回「医療経営士3級」資格認定試験からです。全国に17ある支店の支店長、各エリアを統括するチームリーダー、MRなどを中心に営業本部に所属する約450人に資格取得を推奨し、第21回3級試験



取締役・営業本部長の小川元一氏（左）と営業本部営業企画部専任課長の森光章氏

までに95人の合格者が誕生しました。また、全社を挙げて資格取得に取り組む意思表示として法人正会員に入会しました。合格者からは「医療制度や診療報酬だけでなく、これまで学ぶ機会が少なかった医療関連法規や介護分野の知識を改めて整理できた」「医療機関で働く人の背景を深く学んだことで、自信を持って提案できるようになった」など肯定的な意見が挙がっています。

ただ、資格取得がゴールだとは考えていません。今後も継続的に医療経営に関する知識を深め、医療機関の経営視点に立ったより良い情報提供のあり方を模索してくれることを期待しています。そのためには、医療経営士の支部研究会に積極的に参加し、人脈・ネットワークを広げていくことも大切でしょう。

輸液・栄養は、治療薬と比べるとプライオリティが低く考えられがちですが、十分な治療効果を得るためには、患者さんの栄養状態も大きな要素です。そうした栄養管理の重要性を医療従事者だけでなく、経営層や事務部門の方に伝えていくためにも医療経営士の資格を有効活用していきたいと思っています。

# 全国から延べ2,000人が参加！ 介護文化の創造と発展に向け議論



たくさんの参加者であふれた会場  
(横浜産貿ホール「マリネリア」)



自身の7年に及ぶ介護体験を語る秋川リサ氏

「与える介護」から「引き出す介護」へ  
実行委員長を務める多田宏氏（一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会代表理事）の「介護職の人材不足といった課題を受け、新しい介護のあり方を考えたい」との言葉でスタートした第2回「全国介護福祉総合フェスティバル」 in 横浜。大会テーマ「地域社会における新たな介護文化の創造・発展を求めて——今こそ必要な世代間の相互理解と融合」に即し、講演会、座談会、パネルディスカッションなど、多彩なプログラムが展開された。

第2回「全国介護福祉総合フェスティバル」 in YOKOHAMA(主催:一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会、後援:日本医療経営実践協会 他)が、8月4日(金)、5日(土)、横浜産貿ホール「マリネリア」で開催された。2日間で延べ2,000人が参加し、介護が抱える諸課題の解決に向けて、さまざまな視点からの議論・検討が行われた。

オープニングセレモニーに続いて行われた特別講演では、女優の秋川リサ氏が「認知症の母親を7年間介護した経験から「見守る介護」について語った。次に、「これからの地域社会のあり方——新たな介護文化の創造と発展を考える」と題し、小櫻義明氏(静岡大学名誉教授)が基調講演を行った。小櫻氏はこれまでの介護は「与える介護」であり、①高齢者に依存や甘えが生まれる、②介護を受けることに遠慮が生まれる——のいずれかになると指摘。今後の介護のあり方として「引き出す介護」を提案。「できることは自分でやってもらうこと。そうすれば介護する人・される人の両者に対等な関係が生まれ、それが高齢者が自立して生きることにつながる」と主張した。

では、女優の秋川リサ氏が認知症の母親を7年間介護した経験から「見守る介護」について語った。次に、「これからの地域社会のあり方——新たな介護文化の創造と発展を考える」と題し、小櫻義明氏(静岡大学名誉教授)が基調講演を行った。小櫻氏はこれまでの介護は「与える介護」であり、①高齢者に依存や甘えが生まれる、②介護を受けることに遠慮が生まれる——のいずれかになると指摘。今後の介護のあり方として「引き出す介護」を提案。「できることは自分でやってもらうこと。そうすれば介護する人・される人の両者に対等な関係が生まれ、それが高齢者が自立して生きることにつながる」と主張した。



[上] 大盛況となった、認知症の人の世界を体感できる「VR認知症体験会」(株式会社シルバーウッド)

[下] 第2回「介護福祉のみらい」作文コンクールでは、中学生、高校生7人が表彰された

## 介護フェスに参加した医療経営士の声



済生会横浜市東部病院  
医事企画室主任  
医療経営士2級  
**金城 悠貴氏**

自院のあり方を考えるには、外部からどう見えるか、顧客やステークホルダーから何を求められているかを理解することが必要だと思います。介護フェスは、それを知るよい機会だと思えました。実際、知らないことだらけでした。「自助→共助→公助」の原則が、まったく逆になっている介護の現状にも驚きました。

医療と介護のシームレスな連携を実現するには、互いをよく知る必要があります。医療・介護連携における改善策など、考えることの多いイベントでした。



医療法人 深仁会 定山溪病院  
リハビリテーション部  
作業療法科 科長  
医療経営士2級  
**小川 輝史氏**

私は介護福祉経営士でもあるので、今回のイベントはとても身近に感じました。さまざまなプログラムの中でも「地域社会」「ICT」「保険外サービス」「認知症」というキーワードが強く印象に残っていました。今回の学びを、さっそく業務に役立てていきたいと思えます。

医療と介護は、分けて勉強するより、一緒に学ぶ方がメリットが大きいです。多くの医療経営士の方に、介護福祉経営士を目指してほしいです。Wライセンスを取ること、経営士として集える場所が広がりますよ！

のトークショーなどが開催され、さまざまな人が介護を考え語り合う場となった。**地域社会における経営人材の役割を考える**  
2日目は、「介護×ICT Tミーティング——テクノロジーが生み出す未来の介護とは」や座談会「地域社会における介護福祉経営士

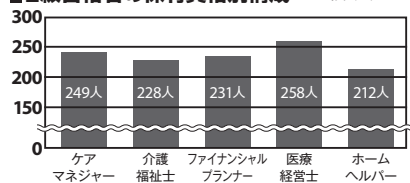
の役割——地域包括ケアシステムの推進力として何をすべきか」などが行われたほか、第2回「介護福祉のみらい」作文コンクールの表彰式も行われた。同コンクールは中学生、高校生が介護や福祉に関する実体験等を通して感じたこと・考えたことや、自分の老後を想像して考えたことを発表する場として設けられており、今年は全国から394編の作品が寄せられた。審査の結果、7人が受賞した。最後に「横浜・介護文化創造宣言」を行い、盛況裡に幕を閉じた本フェスティバル。医療経営士も多く参加し、介護関係者と交流を深める様子が見られた。

## 地域包括ケア時代のキーパーソン 「介護福祉経営士」資格認定試験のご案内

### 医療経営士とW取得者急増中!!

成長産業として注目を集める介護福祉業界で、2013年に誕生した「介護福祉経営士」。過去13回の「介護福祉経営士2級」試験では1,305人が合格しました。そのうち金融機関・医療機関勤務者が約3割を占め、さらに、医療経営士とのダブルライセンス取得者は現在258人になりました。あなたも、医療経営と介護経営の双方に明るい人材となって、活躍の場を広げませんか？

■2級合格者の保有資格別構成 ※重複あり



### 次回試験日程

- ▶ 第14回「介護福祉経営士2級」
- ▶ 第4回「介護福祉経営士1級」

試験日 **2017年11月12日** 受験申込締切 **10/5**

事務局 掲 示 板

～日本医療経営実践協会からのお知らせ～

広島大会の告知ポスターが完成  
職場やお取引先に掲示していただける  
会員の方を募集!

11月18日(土)・19日(日)に開催される第6回「全国医療経営士実践研究大会」広島大会の告知ポスターが完成しました。事務局では、職場やお取引先などでポスターを掲示し、広島大会の告知にご協力いただける会員の方を募集しています。

ポスターをご希望の方は下記お申し込みアドレスへ「全国大会ポスター希望」とタイトルをつけ、お名前、所属先、所属部署、肩書き、送付先住所、電話番号、必要枚数をご明記の上、ご連絡ください。ポスターは枚数に限りがあるため、ご希望の枚数を調整させていただく場合がございます。皆様の応募をお待ちしております。

【お申し込み】  
E-mail:  
info@jmmpa.jp



支部活動に参加してレベルアップを図ろう! /

PICK UP 研究会

9/2 関東支部

ヘルスケア×まちづくり勉強会  
実践から学ぶコミュニティづくり

株式会社日本医療企画は、超高齢社会健康・医療・くらし研究所主任研究員の石井富美氏を講師に迎え、関東支部共催の勉強会を開催する。

勉強会では、ヘルスケア分野に携わる方を対象に、医療機関・介護施設の枠を超えた地域連携の進め方、介護予備軍への効果的な働きかけ、高齢者のフレイルやサルコペニア対策など、地域を元気にするための実践手法を学ぶ。

- 日時  
9月2日(土)13:00～16:30
- 会場  
日本医療企画もとみやセミナールーム  
(東京都千代田区)
- 参加費(税込)  
会員1,000円/一般5,000円
- お問い合わせ先  
日本医療企画関東支部(担当:平山)  
TEL:03-3256-2885

9/16 関西支部

患者からのクレーム対応術①

～タイプ別クレマーの特性と対応法～

関西支部は、患者クレームをテーマに医療経営士・介護福祉経営士の合同研究会を開催する。

講師は、大阪大学大学院人間学研究科教授の小野田正利氏。クレーム対応において備えておくべき知識と対策法を講義とグループワークで学ぶ。10月21日(土)には、医療紛争特化弁護士胡健介氏が講師を務める「患者からのクレーム対応術②～医療過誤訴訟を中心に～」を開催。

- 日時  
9月16日(土)14:00～17:00
- 会場  
上田公認会計士事務所セミナールーム  
(大阪府大阪市)
- 参加費(税込)  
会員3,000円/一般4,000円
- お問い合わせ先  
日本医療企画関西支部(担当:喜津木)  
TEL:06-7660-1761

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
9月2日(土)	関東 (主催:日本医療企画)	ヘルスケア×まちづくり勉強会 実践から学ぶコミュニティづくり	石井富美氏(超高齢社会健康・医療・くらし研究所主任研究員、多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
9月9日(土)	東海 (主催:日本医療企画)	経営人材としての総合力を高める「石井ゼミ」第1回(全4回)	石井富美氏(超高齢社会健康・医療・くらし研究所主任研究員、多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
	東海	第9回静岡県東部医療経営研究会 「平成30年同時改定に向けた病院の組織運営について」	石井友二氏(医療法人社団同仁会中島病院顧問) / 岩本竜一氏(医療法人社団賢仁会杉山病院介護推進事業室) ほか
9月15日(金)	北海道	北海道「医療・介護・栄養経営士」3支部合同研究会	未定
9月16日(土)	関西	患者からのクレーム対応術① ～タイプ別クレマーの特性と対応法～	小野田正利氏(大阪大学大学院人間学研究科教授)
9月22日(金)	北海道	社会保障ゼミⅡ 第6回(全6回)	神内秀之介氏(NB lab代表、介護福祉経営士1級)
9月29日(金)	関東	第11回神奈川研究会「病院の危機管理 RM(リスク・マネジメント)からCRM(クライシス・リソース・マネジメント)へ」	安川文朗氏(横浜市立大学国際総合科学部・大学院国際マネジメント研究科教授)
9月30日(土)	関東 (東北支局)	経営企画の力を向上させる「石井ゼミ in 東北」第3回(全3回)	石井富美氏(超高齢社会健康・医療・くらし研究所主任研究員、多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
	九州	医師を知り、交渉力・提案力をUP 現場力を磨く「Dr園田ゼミ」第1回(全4回)	園田幸雄氏(医療経営士1級、医学博士 [九州大学])

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

第6回 全国医療経営士実践研究大会 **広島大会** 参加登録受付中!

2017年  
開催日時  
**11月18日(土)**  
**11月19日(日)**

大会テーマ  
**変革期に求められる  
医療経営士の使命と課題**

——現場主導による経営改革と新しい地域づくり

医療経営士による  
演題発表  
受付中!!

多くの医療経営士の  
チャレンジをお待ち  
しています。

●発表登録期間:  
8月31日(木)まで

会場  
**広島YMCA国際文化センター**  
広島県広島市中区八丁堀7-11

大会  
運営  
委員長  
**梶原四郎**  
日本医療経営実践協会中国支部支部長 / 医療法人社団清風会理事長